

平成21年度 企業会計決算審査特別委員会

仙北市病院事業会計決算、温泉事業会計決算、水道事業会計決算、それぞれ全会一致で認定される

9月2日に企業会計決算審査特別委員会が設置され、本会議より付託された議案について、16日、17日の2日間、慎重な審査が行われた。

平成21年度 仙北市病院事業会計 決算認定について

この案件に対する主な質疑は、次のとおりである。

問 経営改善のために、収益向上に欠かせない常勤医師の確保が困難な原因をどのように分析しているのか。また、医師確保のために取り組んだ実績は。

答 研修医制度や医師の開業志向の増加に起因するとされている。制度的な要因があり、この解決には時間を要するものと考えている。

常勤医師の確保のため、事務サイドからの直接的な医師への交渉は相当な困難を極め、医師同志でなければコンタクトできないという側面もある中で、市長や院長は医師間のネットワークを伝に、多数の医師と接触し

ている。手応えとしては、決して悲観するものばかりでなく、現在の医師数からすると、5〜7年後に医師不足はある程度解消方向へ向かうと言われているが、医師確保の為良質な居住空間の確保や教育力を高めるための施策など、地域の生命に関わる医療の充実のため、総合的な支援を行いたいと考えている。

問 医療局の構想について何う。

答 医療局設置のための準備室を10月上旬に立ち上げ12月定例会へ医療局設置条例案を提案した。

担う役割は、事業管理者を起し、医師確保対策や予算、医療従事者の人事権も掌握し、角館病院の改築に関する様々な意見を伺う等、病院事業に関わることである。

経営の一元化により、両病院を一つにするという考え方ではなく、各病院機能をより充実させ、経営の安定を目指すという視点からの医療局と理解願いたい。

このほかに、滞納未収金、慢性的な赤字解消策、患者へのサービスの向上などの意見が出された。

平成21年度 仙北市温泉事業会計 決算認定について

問 新規の源泉井戸の掘削にかかる経費はどのぐらいか。

答 現在のカラ吹源泉2号井の地上に露出した管の老朽摩耗が著しく、温泉供給を停止する事のないよう、新たな源泉を確保するという考え方から、平成21年現在の概算経費としては、約2億9、200万円を見込んでおり、現在、温泉審査会への申請や周辺施設からの同意等の手続き中である。

このほかに委員からは、滞納未収金の回収や新たな源泉確保のため、温泉供給が停止することがないように等の意見、要望が出された。

平成21年度 仙北市水道事業会計 決算認定について

問 各地域の水道料金がばらばらな理由は何か。

答 それぞれの上水道、簡易水道の成り立ちが大きく影響していると考えられる。

現在、市全体の水道事業の原価計算を精査する作業に入っている。終了後、この原価に基づき、料金の統一のため、水道運営審査会の意見を伺いながら、あるべき料金水準や形態などの方向性を

定めたい。なお、収益収支の費用も抑制した上で原価計算をしなければいけないと考えている。

水道料金のあるべき姿について、本特別委員会 の総意として「市民へ公平な利益を還元する目的、また企業会計のより健全な経営の促進、更に今後の水道施設予定地区内の住民に不安を与えないという観点から、西木簡易水道事業も含め、できるだけ早急に水道料金の統一を進める事」を確認した。

(田口寿 記)



早急に求められる水道料金の統一